区分	卦(か)	卦　　爻　　の　　本　　文
27	山雷頤	頤(い)は、貞(ただ)しければ吉(きち)なり。頤(い)を観(み)て自(みずから)ら口実(こうじつ)を求(もと)む。
	初爻	爾(なんじ)の霊亀(れいき)を舎(す)て、我(われ)を観(み)て頤(おとがい)を朶(た)る。凶(きょう)なり。
	二爻	顚(さかしま)に頤(やしな)わる。経(つね)に払(もと)れり。丘(おか)において頤(やしな)わる。往(ゆ)けば凶(きょう)なり。
	三爻	頤(い)に払(もと)る。貞(てい)なれども凶(きょう)なり。十年(じゅうねん)用(もち)うるなかれ。利(よ)ろしきところなし。
	四爻	顚(さかしま)に頤(やしな)わるるも吉(きち)なり。虎視眈眈(こしたんたん)、その欲遂遂(よくちくちく)たれば、咎(とが)なし。
	五爻	経(つね)に払(もと)る。貞(てい)に居(お)れば吉(きち)なり。大川(たいせん)を徒(わた)るべからず。
	六爻	由(よ)りて頤(やしな)わる。萬(あやうき)うけれども吉(きち)なり。大川(たいせん)を徒(わた)るに利(よ)ろし。

※書き下し文は、易経(上)(下)～高田　真治、後藤　基巳訳(岩波文庫)を参考にしています。